

## 令和7年度富山県原子力防災訓練の実施結果

### 1 概要

- (1) 日時 令和7年11月24日(月) 7:00~14:00頃
- (2) 実施場所 図上訓練：富山県防災危機管理センター、氷見市役所、石川県志賀オフサイトセンター  
実動訓練：上庄小学校、十二町小学校、西の杜学園、氷見運動公園、中滑川複合施設メリカ(滑川市)
- (3) 参加機関 60機関(富山県、氷見市、滑川市、北陸電力株、関係機関など)
- (4) 参加者数 約670名(氷見市住民約300名を含む)  
※その他、UPZ内全域において屋内退避訓練を実施(対象者約11,900名)

### 2 訓練内容

#### (1) 訓練の想定

石川県志賀町で震度7の地震が発生し、志賀原子力発電所2号機において、原子炉が自動停止するとともに外部電源を喪失。その後、非常用の炉心冷却装置による注水が不能となり、全面緊急事態となる。さらに、事態が進展し、放射性物質が放出され、その影響が発電所周辺地域に及ぶ。

#### (2) 主な訓練

##### <図上訓練>

##### ①災害対策本部等の設置運営訓練(県防災危機管理センター、氷見市役所)

- ・ 防災危機管理センターにおいて、大型マルチディスプレイや映像情報システム等の機能を活用した災害対策本部運営や本部員会議を開催

##### ②県現地災害対策本部及び志賀オフサイトセンターの設置運営訓練(志賀オフサイトセンター)

- ・ 国、石川県、関係機関等との情報共有や伝達訓練を実施

##### <実動訓練>

##### ③住民の屋内退避、一時移転訓練(氷見市内)

- ・ 自宅が全壊した想定で一部の住民が一時集合場所における屋内退避訓練を実施
- ・ Yahoo!防災速報アプリや氷見市公式LINEを活用した住民広報により、屋内退避及び一時移転訓練の実施を呼びかけ

##### ④一時集合場所参集・安定ヨウ素剤緊急配布訓練(上庄小学校、十二町小学校、西の杜学園)

- ・ 地域や一時集合場所の特性に応じた住民への安定ヨウ素剤の配布

##### ⑤避難退域時検査の実施訓練(氷見運動公園)

- ・ 氷見運動公園において、バスや自家用車の車両検査、住民検査を実施
- ・ 避難退域時検査支援システムの試行的な導入による検査結果のペーパーレス化
- ・ 石川県(羽咋市、中能登町)の一部住民の氷見運動公園を經由した避難を訓練に反映

##### ⑥避難所開設・運営訓練(中滑川複合施設メリカ)

- ・ 地震等の複合災害を想定した県東部(滑川市)への広域避難訓練を実施
- ・ 県防災士会による防災講演会を開催

##### ⑦緊急時モニタリング訓練(氷見市内等)

- ・ 緊急時モニタリングセンターに職員を派遣し、国の指揮の下、モニタリングポストや走行サーベイによる空間放射線量率の測定等を実施

##### ⑧住民等に対する広報訓練(氷見市内)

- ・ インターネット(SNS)や防災行政無線、広報車等による広報活動訓練を実施

##### ⑨交通誘導・警戒準備訓練(氷見市内)

- ・ 警察車両の先導による避難車両誘導や交通規制を実施

##### ⑩社会福祉施設における屋内退避訓練(氷見市内)

- ・ 社会福祉施設において、放射線防護施設の異常の有無の確認や入所者の屋内退避訓練を実施

### ⑪被ばく医療措置訓練（富山県立中央病院）

- ・ 負傷し汚染した可能性のある住民への被ばく医療措置を実施

### ⑫複合災害対応訓練（氷見市内）

- ・ 地震による被害状況の把握のため、県消防防災ヘリのヘリテレ映像を災害対策本部員会議に伝送
- ・ 地震により道路が寸断し孤立集落が発生した想定で、県防災航空センターに県消防防災ヘリの派遣要請を行い、空路での住民避難を実施
- ・ ドローンを活用した被災箇所の状況確認訓練、道路の段差解消訓練など道路啓開訓練を実施

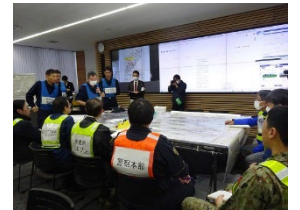
## 3 実施結果

### 【図上訓練（災害対策本部等の設置運営訓練・県現地災害対策本部訓練）】

- ・ 防災危機管理センター
  - ① 災害対策本部で把握した情報を映像情報システム等によりリアルタイムで災害対策本部員会議や関係機関と情報共有し、迅速適切な意思決定につなげた。
  - ② 志賀オフサイトセンターからの映像や音声を本部と接続する際に防災危機管理センターの映像システム等の機能を活用した。
- ・ 志賀オフサイトセンター  
副知事を派遣し、県現地災害対策本部を運営するとともに情報収集等を実施し、防災危機管理センターと映像を含めた情報共有を行った。



本部員会議(5F)



災害対策本部(4F)

### 【屋内退避・一時移転・安定ヨウ素剤緊急配布訓練】

- ・ 自宅での屋内退避が困難という想定で、一部の住民を対象として一時集合場所での屋内退避訓練を実施し、屋内退避の手順を確認した。
- ・ 一時集合場所ごとの地域特性に応じた安定ヨウ素剤の配布方法を確認できた。

地区	一時集合場所	避難方法	配布方法
上庄	・ 上庄小学校 (UPZ 内) ・ 十二町小学校 (UPZ 外)	バス・自家用車	集合 (対面)
明和	西の杜学園 (UPZ 内)	自家用車	ドライブスルー



屋内退避訓練 (上庄小学校)



集合配布 (十二町小学校)

- ・ 薬品保管庫で保管している安定ヨウ素剤を搬出した。
- ・ 県バス協会との災害時応援協定に基づく住民の輸送訓練を実施した。

### 【避難退域時検査の実施訓練】

- ・ 計画上の避難退域時検査場所（仏生寺公民館）が、地震等により使用不可という想定で、氷見運動公園において、避難退域時検査訓練を実施した。
- ・ 約 100 台の車両が参加し、より実践的な訓練を行うことができた。
- ・ 実際の運用や検査方法を確認するとともに、より実災害時に沿った対応への課題を把握できた。
- ・ 検査支援システムの操作方法やシステムを用いた検査の手順を確認できた。
- ・ 石川県からの避難バスの検査を実施し、他県からの避難も想定した訓練を実施できた。



車両検査



住民検査



支援システムの活用



石川県からの避難バスの検査

### 【避難所開設・運営訓練】

- 地震等の複合災害により第1避難先（県西部）での受入れが困難という想定で、バックアップの第2避難先（県東部、滑川市）へ避難し、避難所の開設運営の手順を確認できた。
- 県防災士会の協力により、参加者が、多様性に配慮した避難所の運営について学ぶことができた。



県防災士会による講演  
(中滑川複合施設メカ)

### 【緊急時モニタリング訓練】

- 緊急時モニタリングセンターに職員を派遣し、原子力規制庁や石川県と連携した実践的な訓練を実施できた。



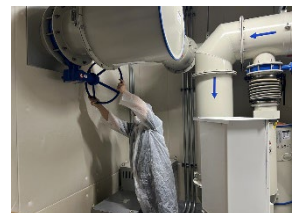
緊急時モニタリング  
(走行サーベイ)

### 【交通誘導・警戒準備訓練】

- 警察車両の先導による避難車両の誘導、円滑な交通規制ができた。

### 【社会福祉施設における屋内退避訓練】

- 放射線防護施設の操作手順の確認や入所者の屋内退避の流れを確認できた。



社会福祉施設での  
放射線防護施設の操作

### 【被ばく医療措置訓練】

- 被ばく傷病者が来院した際の対応手順について確認できた。

### 【複合災害対応訓練】

- 県消防防災ヘリのヘリテレ映像を災害対策本部員会議に伝送し、被災地の様子を上空からリアルタイムで確認できた。
- 県消防防災ヘリによる孤立住民の空路避難訓練を通じて離発着地点や搭乗手順等を確認できた。
- ドローンを活用した被災箇所状況確認や、重機を用いた道路の段差解消訓練を通じて、住民の避難経路の道路啓開の手順を確認できた。



県消防防災ヘリによる空路避難



ドローンによる被災箇所の確認



重機による段差解消訓練